

大学自己評価部会だより

第20号 (平成22年11月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1)新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2)歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3)高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4)歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5)国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

アンケートの調査結果を報告します

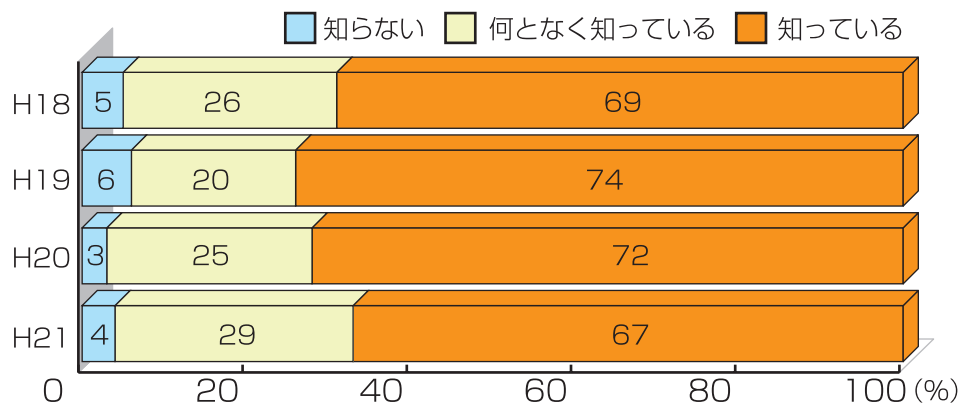
心身の健康に関する相談室の認知度、奨学金制度の認知度やアルバイトの状況、およびスチューデント・アワー制度の利用状況について、平成18年度～21年度の4年間を比較しました。

①健康に関する相談室の認知度

健康管理室と、カウンセリング・ルームの存在を知っている人は多く、この4年間認知度に大きな変化はありません。

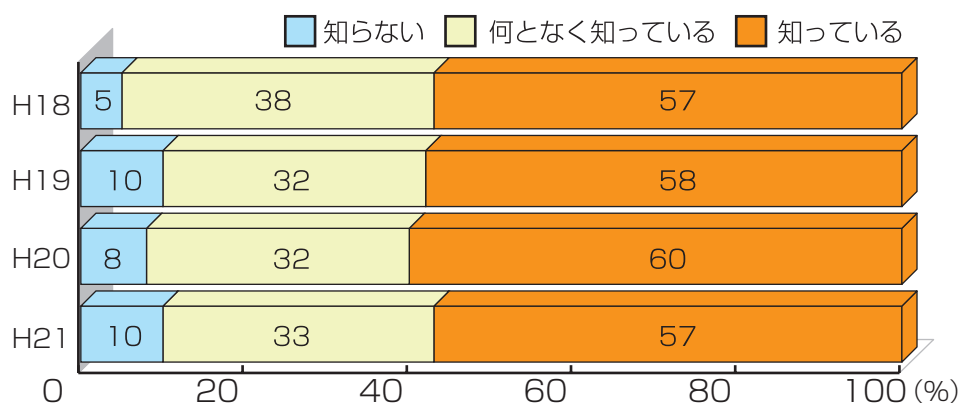
Q.1

大学に健康管理室があるのを知っていますか。



Q.2

大学にカウンセリング・ルームがあるのを知っていますか。

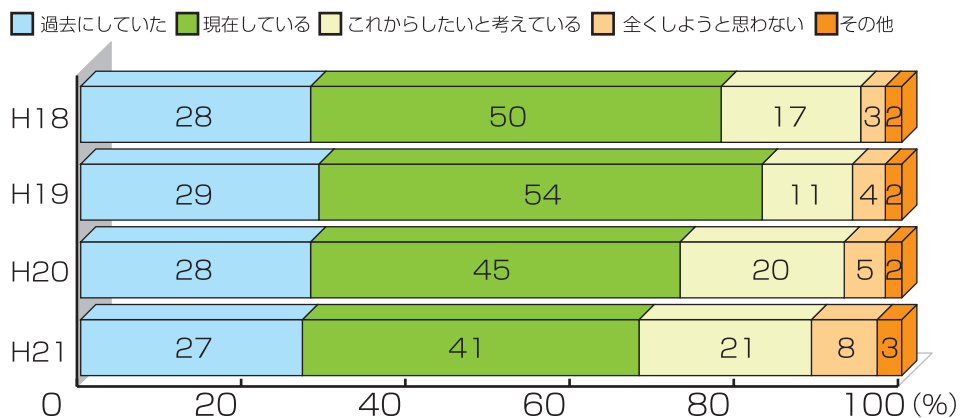


② アルバイトの実態、および奨学金制度の充実

アルバイトを希望している人は増加傾向にあります。実際にアルバイトをしている人は平成19年度をピークに減少傾向にあります。本学の奨学金制度については約80%の人がある程度知っているのですが、充実していると思っている人は約25%で、年度による違いはほとんどありません。

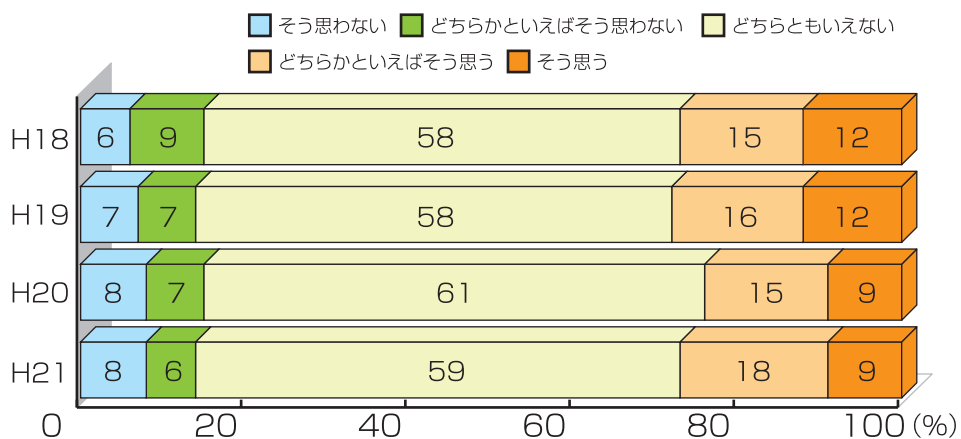
Q.1

大学に入学後、アルバイトをしていますか。



Q.2

本大学の奨学金制度は充実していると思いますか。

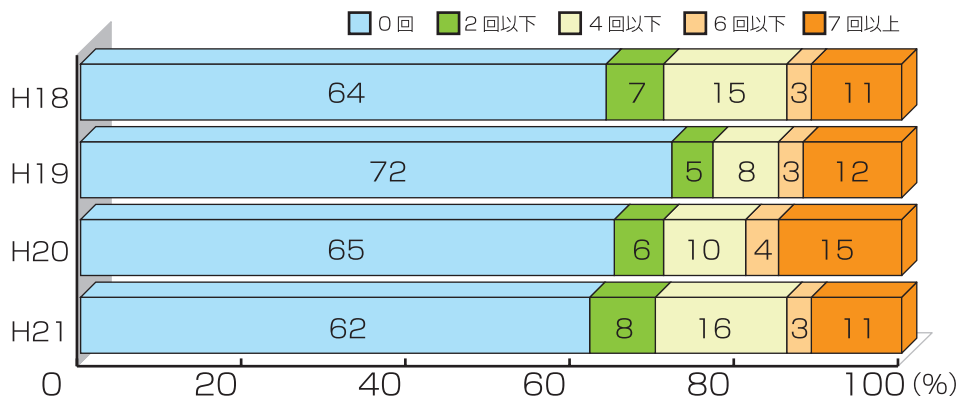


③ スチューデント・アワー制度の利用状況

平成18年度から19年度にかけて利用者が一端減少しましたが、その後平成21年度にかけて増加を示し、約40%の皆さんが1回以上この制度を利用しています。

Q.1

スチューデント・アワー制度を何回くらい利用したことがありますか。



この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kyoumu@kyu-dent.ac.jp へお願いします。